

平成二十九年入学試験

一般入試

第一時限問題 国語

試験時間 九時十分から九時五十五分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐ受験番号と氏名をこの表紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (三) 問題は1ページから6ページまであります。受験番号などを記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備がある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えはすべて解答用紙の決められた欄に書きなさい。※字数制限のある問題は、句読点・記号も字数に含まれます。
- (五) 印刷の文字が不鮮明である、鉛筆を落としたり、トイレに行きたくなった、気持ちが悪くなった、などの場合は手をあげて申し出なさい。
- (六) 携帯電話は、音が出ないよう電源を切るかバッテリーをはずし、カバンにしまっておきなさい。
- (七) 「解答やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受験 番号		氏名	
----------	--	----	--

一 次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

正確な地図―君の地図と私の世界

普通、その地図はわれわれの住んでいる地元を中心に作られていて、その周辺はごく詳しい。それから次第に拡がって行くにつれて、われわれの地図はおおざっぱになって行くが、われわれの生活とつながりの深いところは相当詳しい。相当な個人差があるが、大体のところ、われわれは日本については一応まともな地図を持っていると言えるであろう。しかし、ラテン・アメリカや中近東となると、われわれの地図は、一部の例外を除いて、大変ぼけていて、その地方は、まったく名前だけの存在になってしまう。その地方の伝統、習俗、文化のようなものを、われわれはほとんど知らない。

このように、われわれの地図には大きな個人的な差異がある。なぜなら、人によって関心のありかが異なるからである。ある人は、地球上でおこなわれている経済活動にくわしく、また、ある人は世界の諸国を文化的な側面からよく知っている。そしてまたある人は政治状況にくわしいといった具合である。

こう考えると、われわれが世界地図を見て世界を知っていると考えていることがいかに大きな錯覚であるかが理解されるであろう。たしかに、われわれは日本の西にはアジア大陸があり、東は太平洋とその彼方にアメリカ大陸があることを知っている。南の方へ行けば東南アジアで、タイとかインドネシアとかさまざまな国があることを知っている。しかし、それはいかにつまらない知識であることか。果してわれわれはそれによって世界のことを知っていると言えるのであろうか。

逆に、われわれは昔の不正確な地図から昔の人が世界を正確に知らなかったと判断してはならない。昔の地図は地球を平面と考え、海の方に行けばその端は滝になっていて、船はその滝のなかに沈んでしまふというようなものが多い。たとえば十三世紀ヨーロッパの地図は、地中海を真中にヨーロッパ、アジア、アフリカの三大陸が記されていて、その端は大洋によって区切られている。すなわち、アメリカ大陸も、中国や日本も、そして、太平洋、大西洋、インド洋も、そこには大洋としか記されていない。それは他の世界への通路ではなく、彼らの世界の端と考えられたのである。それは、科学的には明らかに不正確な地図であった。しかし、それは当時の人びとにとっては正確な地図であったのである。彼らはそれだけしか知らなかったし、また、それ以上知ることとは当時の技術から見ても不可能であった。実際いくらかの人は地球が球形であることを知っていた。古代においてもエラトステネスは地球が球形であることを知っていて、その大きさを大体正確に算出している。しかし、それはあくまでA知識に過ぎず、彼らが当時知っていた世界とは結びつかなかったのである。地球が球形であるという知識は、彼らにとつてなら^③実際のな意味を持ちえなかった。それ故に、エラトステネスは、世界地図を書くとき、地球が球形であることを無視して、当時知られている世界を描いたのであった。つまり、地球と世界とはちがうのである。前者はBものだが、後者は人間の知っているところであり、そして、その上で人間が活躍する舞台である。人間にとつて後者の方が重要であることは言うまでもない。

国際政治学の出発点

だから、われわれは地図の持つ意味をつねに探し求めなくてはならないし、その際に、われわれの地理的視野の歴史的な性格と主観的性格に留意しなくてはならないのである。過去の歴史が地図の上でどのようにしてくり展げられて来たかを考えることや、現在の技術の状態についての認識を深め、それが地理の意味をいかに変えるかを考えることは、きわめて重要なことなのである。毛沢東は若いころ、地図の前に一時間も二時間も突っ立って考えていたという。彼がなにを考えていたかはだれにも判らないが、しかし、中国の地図を見ながら、中国の歴史の興亡を想像し、中国の地理がどのような可能性を持っているかを考えていたと想像することは許されるであろう。たしかに、地図はわれわれの想像をかき立ててくれるのである。

それに加えて、異なった土地の人が地理に対してどのように異なった見方をしているかを知ることにも意義がある。それはわれわれに異なった地理的視野を教え、それによってわれわれの地理的視野を豊かにしてくれるからである。つまり、北からだけでなく、南から地球を見ることは意義のあることなのである。たとえば、あるオーストラリア人は日本のことを描いた彼の著書に『二階にある国』という題名をつけた。それは日本人には思い浮かばない名前だが、たしかにオーストラリアから見ると日本はそのように見えるかも知れない。日本はオーストラリアの真上にあるからである。とくに、太平洋戦争で日本が南下したとき、彼らは上にあるものがおおいかぶさってくるような感じを受けたことであろう。

地球はひとつだし、その上で起こっていることは客観的にはひとつ

である。しかし、それを見る人によって、それはまったく異なったものとして捉えられる。それは国際政治学の出発点だし、国際政治学を学ぶものとして、できるだけ多くの視点を味わう必要がある。とくに、オーストラリアは南半球にあって、三十年ほど前までは日本とのつながりがきわめて薄かったが、最近急激に親密さを増した。そのような国が世界をどう見ているか、を知ることが有意義にちがいない。

(高坂正堯 『世界地図の中で考える』より)

(一) A・B にあてはまる語句を次の A から C までの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。

A 物理的な I 抽象的な U 国際的な E 独自の
C 断片的な

(二) ① 世界を知っている とはどのようなことか。これより以前の問題文中の語句を利用して答えなさい。

(三) ② いかにか と傍線部が同じ用法のものを次の A から E までの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

A 地球温暖化に関する問題をいかに解決するかが今後の課題だ。
I 友人に、有名なオーケストラの演奏がいかにすばらしかったかを説明する。

U 世界的な科学者の言うことはいかにももっともらしい内容だった。

E いかにか いくらくても最後までがんばり抜くように心がける。

(四) ③ 実際のな意味を持ちえなかった とは、どういうことか。「实际的」の内容を明らかにして、わかりやすく説明しなさい。

(五) ④ われわれの地理的視野の歴史的性格と主観的性格に留意しなくてはならない とあるが、

(1) 「主観的性格に留意」するとはどうすることか。問題文中の語句を用いて、三十五字以上四十字以内で説明しなさい。

(2) 波線部 a から d を「歴史的性格」に関することと、「主観的性格」に関することに分類するとどうなるか。分類した結果として最も適当なものを、次のアからオまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 歴史的性格：a c 主観的性格：b d
- イ 歴史的性格：a d 主観的性格：b c
- ウ 歴史的性格：b c 主観的性格：a d
- エ 歴史的性格：b 主観的性格：a c d
- オ 歴史的性格：d 主観的性格：a b c

二 次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

世は例のバブルが弾け、仲間と立ち上げた会社は大混乱、危急存(一)のとき"だった。

そんなとき、ほとんど視力がない子が生まれた。

ずっと脇目も振らず、猪(一)猛進してきた自分への運命の皮肉か、

などと変な理屈にとらわれ、闇雲な怒りに襲われることもあったという。

「子供が不憫でさ。保育所だって特別なところじゃないと預けられないし、友だちも社員もみんな子供の話題は避けるし。一番つらいのは男の子なのにオモチャを買ってやれないことだよ。尖って硬いものなんて危なくて。軟らかくて安全なぬいぐるみばかり。ならその分、子供に愛情を注ぐと思うだろ？ 違うんだ。嫌になっちゃうんだよ。子供の顔を見るのもしんどくなるの。男の根っこなんて世の中で言うほど強くないんだな」

頭の中にあるのは「内憂外患」の四文字ばかり。ぼっきり折れそうになりながら、それでも公私にわたって頑張ったが、ついにあるとき気力も体力も尽きて会社を休んだ。

会社存続の瀬戸際なのに。そう思うが体が動かず、無念の思いで終日寝ていたそう。

そして翌日、ふと目覚めて、ぎよつとなった。

寝ていた男の周囲に、ずらりと、ぬいぐるみが並んでいたのである。奥さんの仕業かと思ったが、奥さんもそれを見てびっくりしている。

「夫婦揃って呆然だよ。まさかその子がやったなんて信じられないだろ」なにせ、ぬいぐるみの顔は全て、枕のほうを向いていたのだという。

つまり寝ていた父親の顔に、ぬいぐるみの顔を向けて並べたわけだ。ほとんど目が見えない三歳の子供が、ぬいぐるみを使って、

「疲れた父親を優しく見守って、元気づけようとした」

そうに違いない、と夫婦は信じた。

「それでやつと、目が見えないからなんだって本気で思ったわけよ。この子供は光を奪われたんじゃない、この子の中に光があるんだって。本

気でだぜ。誰かの中に「光がある」なんて本気で思ったことあるか？」
そんなことを真面目に訊かれると、私は、ないなあと笑って返すほ
かない。

「で、子供の中にあるんなら、親である自分の中にもあるはずだって、
思っただよ。もう、完全に目が覚めたって感じでき」

その後、父親としての心構えが、がらりと変わった。あの子の中に光
がある。——それが「もう呪文のように」効果を発揮したらしい。

理屈なしに意欲が湧いてくる。^②「内憂」は「内助」に、^③「外患」はた
だの「課題」に変わった。結果、会社は存続したし、子供は治療によっ
て平均的な視力を得た。

残念なのは、子供がそれ以後、もっぱら男の子が好むオモチャを欲し
がったことだという。ことあるごとに父親はぬいぐるみを買うが、その
たび子供のほうは、

「こんなのいらぬ」

と言う。なのに買う。誕生日のたび、クリスマスのたび、なぜか父親が
自分のためにぬいぐるみを買ってくる。

それが、旧友には、ずっと不思議だったのだという。

「だってお前、十八歳の高校卒業祝いにぬいぐるみだぜ。さすがに意味
わかんないだろ」

その男の息子である彼は、そう言いながらひどく（ a ） そうな顔
をする。

「ある日、酔っ払った親父が、なんでぬいぐるみなのかって話をしてく
れたのよ。だけどそんな子供のときのことなんて覚えてないだろ？なん
て言えばいいのか全然わかんなくて黙り込んだよ、俺」

それでもその話は、彼にとって辛いときも嬉しいときも一番の「話」
として彼の中に今もある。

「俺の中に（ b ） があるなんて、そんなこと父親から面と向かって
言われてみな。恥ずかしいのなんのって、逃げ出したくなるよ。それに、
なんかあっても落ち込んでいられないし、つい、頑張ってやろうじゃん、
って思っちゃうんだな」

ひとしきり続くその彼の自慢話を、いつい最後まで付き合っ
てしまうのは、その「話」自体に何やら無関係の私をも照らす光のよう
なものが感じられるからだ。

「みんなあるんだぜ、誰の中にも。きっとお前の中にもな」
彼に自信満々に断言されると、なんだか本当にそんな気になってくる
から不思議だ。

（ 沖方 丁 『もらい泣き』より ）

(一) 危^ア急存（ ） 猪（ ） 猛^イ進 とあるが、それぞれの（ ）に漢
字一字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

(二) ^① 父親としての心構えが、がらりと変わった とあるが、変わる前
の父親の心情を表した部分を、十六字で問題文中から抜き出して、
解答欄に書きなさい。

(三) ^② 「内憂」、^③ 「外患」 とあるが、具体的にどのようなことを指すの
か。それぞれ問題文中のことばを利用して「こと」で終わるようにま
とめなさい。

(四) (a) に当てはまることばとして最も適当なものを次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 愉快 イ 悲し ウ 不満 エ 無念

(五) (b) に当てはまることばを、問題文中から抜き出して答えなさい。

三 次の①から④までの文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

- ① 私と彼はタイシヨウ的な性格をしている。
- ② 道路のホシユウのため、違う道で家に帰った。
- ③ 多くの問題をなんとか克服して、試験を乗り越えた。
- ④ 自分がやると決めたことは速やかに実行するべきだ。

四 次の文章を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。

① 五月ばかりなどに山里にありく、いとをかし。草葉も水もいと青く見えわたたりたるに、表面は何でもなく上はつれなくて草生ひ茂りたるを、ながながとたたざまに行けば、下はえならざりける水の深くはあらねど、何ともいえない人など従者のあゆむに走りあがりたる、いとをかし。

左右にある垣にあるものの枝などの車の屋形などにさし入るを、いそぎでとらへて折らむとするほどに、ふと過ぎてはづれたるこそ、いとくちをしけれ。折らう

蓬たぐさの、車に押しひしがれたりけるが、つぶされたのが輪わの回りたるに、車輪近ううちかかりたるをかし。(二〇九段)

(一) 私たちの日本古典文学6 『枕草子・徒然草』 より

① 五月 は現代の季節ではいつのことか。次のアからエまでの中から最も適当なものを選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 春の盛り イ 春の終わり ウ 夏のはじめ
エ 夏の盛り

(二) くちをしけれ は「残念だ」という気持ちを表す古語であるが、どのようなことを「残念」と感じているのか。次のアからエまでの中から最も適当なものを選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 美しい花の咲いた枝が、牛車のすきまに入り込んで、急いではずそうとしたが、ふとしたことで折れてしまったこと。
イ 牛車に入り込んできた垣根の枝を、折らないでおこうとしたが、ふとしたことで折れて木の幹から外れてしまったこと。
ウ 垣根の枝が牛車に入り込んだので、急いで従者が折ろうとしていたが、力が入り過ぎて、牛車の戸を外してしまったこと。

工 垣根の枝が牛車の中に入り込んできたのを、急いで折り取る
うと思っていると、牛車が進んではずれてしまったこと。

(三) 近ううちかかりたるをかし^③ とあるが、この部分で働かせている
作者の感覚は何か。次のアからオまでの中から最も適当なものを選ん
で、そのかな符号を書きなさい。

ア 視覚 イ 聴覚 ウ 嗅覚 エ 味覚 オ 触覚

(四) この文章の作者である清少納言の美的感覚とはどのようなものか。
次のアからエまでの中から最も適当なものを選んで、そのかな符号を
書きなさい。

ア 神の力ともいえる、神秘的な美しさを感じられる感覚。
イ 自然そのもののさまざまな美しさを感じられる感覚。
ウ 人為的な美しさを取りわけ敏感に感じられる感覚。
エ 自然の美しさと人為の面白さを感じられる感覚。